

運営委員長就任のごあいさつ

財団法人 大阪科学技術センター
ATAC運営委員長 梶原 孝生



6年間務めた五百蔵前運営委員長のあとを継いで後任の運営委員長を任されました新任の梶原です。宜しくお願い致します。

“一つの物語の終わりには別の新しい物語の始まりがある”という言葉は、ドストエフスキーの「罪と罰」の中に出てくる言葉ですが、ATACも新しい一歩を踏み出し、新しい物語の始まり

と言うことを新任の義務として、またATACのメンバー全員が新しい一歩を踏み出す機会として認識し、ATACメンバー全員と共に更なる努力と研鑽を重ねて参る所存でございます。

近畿経済圏の地盤沈下を危惧する声がしばしば聞こえて参ります。色々な施策も努力されてはおりますが、その成果を生む起動力は何と言っても中堅・中小企業に鍵があること、これもよく言われていることでしょう。

しかし、これらのかけ声と、実際の現場で血みどろの戦場にある皆様がたのご苦労との間には、埋めがたいほどのギャップが存在することも十分に理解できます。ATACこそは、これらのギャップを埋めることを使命としております。

我々ATACの活動は、中堅・中小企業の真の活性化を、現場に飛び込み、現場で一緒になってお手伝いする事に日夜努力を重ねてきております。

ATACの活動をご理解いただき、存分にご活用いただくことが貴社の発展向上に寄与することを強く信じております。是非ともATACを信じてご活用下さい。我々も必ずそのご期待に報いることをお約束致します。

これからの中堅・中小企業の活性化には、ネットワークの強化、目利きの必要性などが必須の要件となることは間違いありません。また、海外進出、海外の先進技術の動き、今後の戦略などにこれらが重要であることも容易に理解されることでしょう。

また、昨今の国内での製造力の弱体化問題、コスト対策、社員教育などの課題解決も重要課題と思われま。これらの解決こそが我々ATACの知恵の出どころと自負しております。

ATACの活動は、貴社とATACとの信頼関係からスタートすると思います。その信頼関係はATACの実績に裏づけされたものでなければなりません。先ず、ATACの確固たる過去の実績に目を向けて頂き、ATACをご理解下さい。貴社の発展をめざしてATACにそのお手伝いの機会を与えて下さることを、ここにあらためてお願い申し上げ、就任の挨拶に替えさせていただきます。

平成15年度ATAC役員人事

平成15年度ATACの運営を担当する役員は下記の通り決定しました。

会 長	杉 山 一 彦	留任
副 会 長	荒 川 守 正	留任
	五百蔵 弘 典	新任
委 員 長	梶 原 孝 生	新任
副委員長	田 頭 規 夫	留任
	成 富 辰 雄	新任
委 員	藪 野 嘉 雄	留任
	深 瀬 信 重	留任
	三 原 恵 二 郎	留任
	加 瀬 一 彦	留任
	小 川 裕 策	新任